

道藏
選錄

佛學思想研究資料

鎌田茂雄 編撰

道藏選錄佛學思想研究資料 / 鎌田茂雄編撰。

——初版。——臺北市：新文豐，民86

面；公分

ISBN 957-17-1691-X (精裝)

1.道藏

231

86000190

中華民國八十六年二月初版

道藏選錄
佛學思想研究資料

精裝一冊基價一〇・〇元正

編撰者 鎌田茂雄
發行人 高本
發行所 新文豐出版股份有限公司

公司：臺北市雙園街九十六號
電話：三〇六〇七五七・三〇八八六二號
門市部：台北市羅斯福路一段二十號八樓
電話：三三一九二九三・三四一五二九四
台北郵政三六四三信箱四號
登記證：局版臺業字第四四九號
郵政劃撥：三五六八〇七六・三〇二三八七〇
傳真：三五六八〇七六・三〇二三八七〇
23122100 (精)

鎌田茂雄 編撰

道藏
選錄
佛學思想研究資料

新文豐出版公司 印行

序

中國佛教を研究するにあたってはインド佛教學をはじめとし、中國思想史、中國文化史など隣接諸分野と密接に関連させながら研究を進化させなければならないことは周知の事實である。とくに道教や道教史を顧慮することなしに、中國佛教の研究は不可能といつてよい。

『道藏内佛教思想資料集成』は道藏の中にある佛教思想關係の資料を蒐集したものである。本資料集成によつて道教經典の中に用いられた佛教思想が、どのような性格を有するものであるかが明らかに become と思う。道藏内に引用された佛教思想の性格が明確になることによつて、道教徒が、どのような佛教思想に興味と關心を抱いたかが明らかに become する。それはとりもなおさず中國人に深く適應した佛教思想が一體、どのようなものであつたかが分かることにもなる。

本資料集成が中國思想史や道教史の研究者に有益であるのみならず、中國佛教の研究者にも大きな示唆を與えてくれるものと思う。從來、天台教學とか華嚴教學の教理的研究は、微に入り細にわたつて行なわれたが、廣く中國思想史全體のなかから、その特質や性格を位置づけるには至つていないのが學界の現状である。この現状を打破するためにも本資料集成が活用されることを願つてやまないものがある。

私はかつて道教教理に及ぼした佛教思想の影響について少しく考えたことがあつたが、その頃、研究を進展させようとする意圖の下に、道教經典の中に引用されている佛教思想を抽出したことがある。その記録にもとづいて資料を整備し蒐集したのが本資料集成である。

廣汎な道藏の中には佛教思想のみならず、佛教の戒律や懺法の影響を多く受けた文獻がある。本資料集成は佛教思想に限定して蒐集したため、將來は戒律や懺法類も検討し、佛教關係資料を整理し完成させる必要がある。

本書に收録された資料は、二十年前に記録をとったまま、長い間、篋底に秘していたが、この度「東洋文化研究所叢刊」の一つとして刊行することができたことは私の無上の喜びとするところである。本書の刊行を認めてくれた東洋文化研究所の所長および教官各位、並びに本書の原稿の整理を引き受けてくれた日本大學講師・丘山新氏、和歌山大學講師・松村巧氏、並びに東京大學大学院博士課程修了・原田二郎氏、および校正を獻身的に一手に引き受けてくれた丘山新氏、校正その他の勞をおとり下さった大藏出版株式會社編集部の谷村英治氏に對し厚く御禮申し上げます。

昭和六十一年二月十日

東京大學東洋文化研究所にて

鎌田茂雄

目次

序

靈寶無量度人上品妙經	二
元始說先天道德經註解	一六
無上內祕真藏經	二二
太上無極總真文昌大洞仙經	三三
太上三十六部尊經	三四
太上一乘海空智藏經	三六
高上玉皇本行集經	三三
高上玉皇胎息經	三四
太上虛皇天尊四十九章經	三四
元始天尊說生天得道經	三五
元始天尊說得道了身經	三五
太上開明天地本真經	三六

太上玄都妙本清靜身心經……………一三七

太上昇玄三一融神變化妙經……………一四〇

太上修眞體元妙道經……………一四三

無上大乘要訣妙經……………一四四

元始洞眞決疑經……………一四六

元始天王歡樂經……………一四九

玉清胎元內養眞經……………一五三

玉清無上內景眞經……………一五三

太上眞一報父母恩重經……………一五四

太上元始天尊說金光明經……………一五四

元始無量度人上品妙經註……………一五五

元始無量度人上品妙經通義……………一五六

元始無量度人上品妙經註解……………一五六

眞藏經要訣……………一五七

太上昇玄說消災護命妙經註……………一五九

玉清無極總眞文昌大洞仙經……………一六〇

太上天通經註……………一六八

黃帝陰符經講義	一六九
黃帝陰符經心法	一七〇
黃帝陰符經註	一七一
黃帝陰符經夾頌解註	一七二
崔公入藥鏡註解	一七三
青天歌註釋	一七三
學仙辯真訣	一七三
紫陽真人悟真篇註疏	一七三
紫陽真人悟真篇三註	一七五
紫陽真人悟真直指詳說三乘祕要	一七五
紫陽真人悟真篇拾遺	一七六
歷世真仙體道通鑑	一七九
茅山志	一八三
太上昇玄消災護命妙經頌	一八七
太上洞玄靈寶三元無量壽經	一八八
太上洞玄靈寶開演祕密藏經	一九三
太上靈寶元陽妙經	一九七

登真隱訣	二八〇
太上老君說常清靜妙經	二八〇
無上妙道文始真經	二八一
道德真經廣聖義	二八一
甘水仙源錄	二八五
洞玄靈寶九真人五復三歸行道觀門經	二八六
道 樞	二八九
雲笈七籤	二九〇
道體論	二九三
坐忘論	二九六
大道論	三〇八
三論元旨	三二〇
玄珠錄	三二四
宗玄先生文集	三三〇
宗玄先生玄綱論	三三〇
吳尊師傳	三三一
太玄真一本際經	三三三

太上洞玄靈寶本行宿緣經	三六三
洞玄靈寶太上真人問疾經	三八四
一切道經音義妙門由起	三九六
洞玄靈寶玄門大義	三九八
洞玄靈寶三洞奉道科戒營始	三九九
道門經法相承次序	四〇〇
道典論	四一〇
洞玄靈寶左玄論	四一一
無上祕要	四二三
三洞珠囊	四二三
眞仙直指語錄	四三三
太上大道玉清經	四三四
太上中道妙法蓮華經	四三五
太上元始天尊說寶月光皇后聖母天尊孔雀明王經	四五二

凡 例

一、本書は『道藏』の中にある佛教思想關係の資料を蒐集したものである。

二、抽出箇所のあるは、最初に經名・全卷數を擧げ（但し全文收録の場合のみ（全）の印を付す）、

引用箇所のあるは、引用文の後の括弧の中に左記のように略して示した。

引用卷數、線裝本冊數・卷數・表（オ）裏（ウ）、洋裝本冊數・頁數・上段（a）下段（b）

（但し引用卷數と線裝本の卷數は複數卷の場合のみ記す）

例：（卷四、線一四・四・五オ―六ウ、洋一・六六二b―六六三a）

（線六四・二オ―五ウ、洋四・二九〇八a―二九〇九b）

三、俗字・異體字は可能な限り正字に、不明のものはそのままの文字を使用した。

例：无↓無 炁↓氣 皈↓歸 煞↓殺 冥↓冥 宍↓肉

四、明らかな誤字は、を付し括弧内に正字を付した。

例：寶（實）無其門

五、缺字、及び判讀不明な箇所は、部分的なものには□印で字數を示し、長文の箇所は……（欠）……で示した。

靈寶無量度人上品妙經 六十一卷

東方八天

太皇黃曾天	帝鬱經玉明
太明玉完天	帝須阿那田
清明何童天	帝元育齊京
玄胎平育天	帝劉度內鮮
元明文舉天	帝醜法輪
上明七曜摩夷天	帝恬愉延
虛無越衡天	帝正定光
太極濛翳天	帝曲育九昌
南方八天	
赤明和陽天	帝理禁上眞
玄明恭華天	帝空謠醜音
耀明宗飄天	帝重光明
竺落皇笏天	帝摩夷妙辯
虛明堂曜天	帝阿那婁生
觀明端靖天	帝鬱密羅千

玄明恭慶天	帝龍羅菩提
太煥極瑤天	帝宛黎無延
西方八天	
元載孔昇天	帝開眞定光
太安皇崖天	帝婆婁阿貪
顯定極風天	帝招眞童
始皇孝芒天	帝薩羅婁王
太皇翁重浮容天	帝閔巴狂
無思江由天	帝明梵光
上揲阮樂天	帝勃勃監
無極曇誓天	帝飄弩穹隆
北方八天	
皓庭霄度天	帝慧覺昏
淵通元洞天	帝梵行觀生
太文翰龍妙成天	帝那有醜瑛
太素秀樂禁上天	帝龍羅覺長
太虛無上常容天	帝總監鬼神
太釋玉隆勝勝天	帝眇眇行元
龍變梵度天	帝運上玄玄
太極平育賈奕天	帝大擇法門

(卷一、線一・一・七ウー九ウ、洋一・四a—五a)

第一欲界飛空之音

人道渺渺 仙道莽莽 鬼道樂號 當人生門
仙道貴生 鬼道貴終 仙道常自吉 鬼道常自凶
高上清靈爽 悲歌朗太空 唯願仙道成 不欲人道窮
北都泉曲府 中有萬鬼群 但欲遏人算 斷絕人命門
阿人歌洞章 以攝北羅酆 東送祆魔精 斬馘六鬼鋒
諸天氣蕩蕩 我道日興隆

第二色界魔王之章

落落高張 明氣四騫 梵行諸天 周迴十方
無量大神 皆由我身 我有洞章 萬偏成仙
仙道貴度 鬼道相連 天地渺莽 穢氣氛氛
三界樂號 過之長存 身度我界 體入自然
此時樂號 薄由我恩 龍漢蕩蕩 何能別真
我界難度 故作洞文 變化飛空 以試爾身
成敗懈退 度者幾人 笑爾不度 故爲歌音

第三無色界魔王歌曰

三界之上 眇眇大羅 上無色根 雲層峩峩
唯有元始 浩劫之家 部制我界 統乘玄都

有過我界 身入玉虛 我位上王 匡御衆魔
空中萬變 穢氣紛葩 保眞者少 迷惑者多
仙道難固 鬼道易邪 人道者心 諒不由他
仙道貴實 人道貴華 爾不樂仙道 三界那得過
其欲轉五道 我當復奈何

(卷一、線一・一・一ウー一三才、洋一・六a—七a)

玉宸大道品

道言、昔於始青天中、大浮黎土、受元始度人無量上品、
元始天尊、初降清微、示現珠端、納無鞅衆、天真大神、
上聖高尊、妙行眞人、俱入珠中、以無量度人靈寶上品之
法、衆眞監度、以授於我、當此之時、喜慶難言、法事粗
悉、諸天復位、即於開皇五劫之初、玄龍昇度、天關之時
再降太丹流燭之天洞陽凝暉玉玄赤境、度人萬億、以玉宸
大道付授於我、元始天尊、當說是經、周迴十過、以召十
方、始當詣座、天真大神、上聖高尊、妙行眞人、玉宸大
道元師仙君、太極帝眞飛華九靈、禹餘天帝紫微丈人、無
鞅數衆、乘空而來、玉虛流煙、三景煥彩、碧輪寶輿、羽
輅絳蓋、神錦鳳羅、玄明蔭几、洞空合同、神品交炳、九
氣揚霞、三房旋耀、天廓地寧、碧落凝眞、飄飄散景、迴

風混合、帝一監生、圓羅灌氣、飛動八門、日珠舍秀、月璧泣波、靈網鬱鬱、徧周化境、元始天尊、玄坐空浮、玉文寶臺之上、說經一徧、玉晨大聖、同時稱善、是時一國男女徹聽、十方無有滯礙、說經二徧、周視無極、徹然洞觀、說經三徧、語音清妙、化度方來、說經四徧、一神應萬、萬神合眞、說經五徧、三界種民、念往卽至、神行無迹、說經六徧、指按二儀、倏忽周徧、說經七徧、永斷生滅、億劫長存、說經八徧、道海呈祥、玄山發端、說經九徧、形鍊爲氣、氣鍊爲神、說經十徧、自然至眞、玉宸證道、十方三界、俱獲超升、是時一國、是男是女、莫不同心、無有彼此、咸得長生、

(卷二、總一・二・一 a—二 a—一 b)

當此之時、喜慶難言、法事既畢、諸天復位、頃刻之間、寂無遺響、是時天人、遇值大範、普獲昇度、長生永存、神凝氣專、同而無分、傾土歸仰、以道爲心、無念無爲、無思無營、無覺無識、無滅無生、無起無住、無已無名、言合至妙神、飛紫清齊、同慈愛異、骨成親國、安民豐欣、樂太平、玉宸大道無量度人、欽信悟解、得道成眞、

(卷二、總一・二・三 a—四 a、洋一・一 a—一 b)

元始洞玄靈寶本章太一神變五福度人三元降韻、離合自然、混黃窈茫、無門無傍、朗朗太空、道氣無方、八十一劫、遼廓無光、混沌胞胎、不從陰陽、忽生至神、強名太一、乘賀黃龍、手把天綱、狀玉嬰兒、丹錦綠裳、回旋左右、眞正八鄉、萬靈伏從、莫有敢當、太一大神、是爲天根、時遊玉清、上聖之身、泥丸九宮、下生萬天、及以人民、各有知識、分別種倫、分形萬物、居人腦宮、是爲明覺、一眞大神、上居太微、中安福庭、下此九宮、爲帝之賓、太一生誕、元始同眞、上無復祖、惟道爲身、一旣植立、天地乃凝、無一不光、無一不明、無一不立、無一不成、無一不度、無一不生、是爲大梵、天中之天、太一眞形、遊步玉京、上極無上、大羅玉清、眇眇劫仞、若亡若存、乘道之精、三元布宮、以九爲程、太一御之、垂福弭兵、與道同遷、元始俱生、動靜消息、進退晦明、前有金闕、後有玉房、東淨西霽、太一經行、支演梵氣、周廻十方、中有三元、九圖之神、中有玉局、行算之君、中有易度、遷室之神、中有揚旗、望歲赤情、眞符丈人、中有太一、前驅後部、八殺五福、六氣九處、尊神廻骸起死、無量度人、今日校錄、諸天臨軒、

東方無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 南方無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 西方無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 北方無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 東北無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 東南無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 西南無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 西北無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 上方無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 下方無極三元九宮太一眞皇長生大聖無量度人
 十方至眞太一眞皇長生度世無量大神、竝乘碧霞、紫白交
 雲、流光照空、丹靄綠輿、蚪輪鳳輶、羽袞朱紱、蔭映搖
 曳、驂駕九色、巨天神獸、玉宸飄歛之龍、建青靈之節、
 七曜洞神、靈旛前囑、九歌齊唱、後吹八音、同鳴天馬、
 辟邪鼓舞、躑躅鸞鶴、鴻鸞嘯集、囉囉六甲、啓途玉女、
 扶輿億乘、萬騎浮空、而來傾光、回駕御運、度生太一、
 眞符三元、九宮布策、推局招搖、大神天目、飛鳥揆氣、
 推時下臨、方外福禍、應期執籙、把籍齊到、帝前隨所、
 應度嚴校、諸天普告、三界九維、八極二十八分、所臨邦
 國、兵饑水旱、晏卒廣疫、祥瑞福應、君壽道德、合符下

上、剋制所經、三官九府、十二河源、陰陽氣局、內外一
 千二百度運、天界人域、主治福禍、下逮生民、祖考億劫
 種親福會、所臨太一降氣幽爽、蒙度冥泉發光、疾除罪簿、
 落滅惡根、不得拘留、逼合鬼群、太一符命、時刻升遷、
 迎氣修誦、升壇叩靈、以祈福應、雖植災宮、所臨之國、
 至信祈禳、則三官鳴軫、太一回轅、災變爲福、享國太平、
 帝壽億年、世人命曆、所加當爲災害、依法祈請天光映身
 及世長生、太一紫宮、福及天人、至有滅化、在貴福之分、
 則北都寒池部衛形魂制魔保舉度品、南宮死魂、受鍊仙化
 成人、生身受度、劫劫長存、隨圖輪轉、御代眞年、有知
 其神、身爲仙眞、永度三災、四殺五鬼、六害七傷、八難
 九厄、超凌三界、逍遙上清、上清之天、天帝玉眞、無色
 之境梵行、

(卷六、線二・六・九ウー一三オ、洋一・五六b―五八b)

第三玉律元皇超升歌曰

我行上清境 回觀三界中 指顧臨萬天 歎忽警飛龍
 人身如遠應 寸田百妄攻 不知神氣盡 五道如樊籠
 當思絕學觀 道氣常沖融 神凝形自分 玄影相護籠
 陰盡滅魔穢 清虛合太空 結鍊成仙質 簡奏青華童

眞妙既充盈 福慶及先宗 躡景步寥廓 萬劫年何窮
自非高眞才 安我希鴻濛 天人同我遊 勝樂靡不崇
若非因律言 奚所振玄風

(卷九、線二・九・一七オーウ、洋一・八八b—八九a)

道言、元始天尊說經中所言、竝是諸天上帝內名隱韻之音、亦是眞王內諱、百靈之隱名也、太乙元精者、無形眞土也、眞土無形、即是太空、太空爲土、其中生出三界一切天地眞仙龍神人鬼兆若知之、以有合無、以性合空、以神合道、卽爲高眞、非世之常辭、上聖已成眞人、通玄究微、能悉其章、誦之十過、諸天遙唱、萬神設禮、太一臨景、河海靜默、元精布化、山嶽藏雲、眞土孕明、內生日月、無形示象、璇璣不行、群魔束形、鬼精滅爽、迴屍起死、白骨成人、至學之士、誦之十過、則五帝侍衛、三界稽首、魔精喪眼、鬼祿滅爽、濟度垂死、絕而得生、太一施德、元精散靈、收氣於空、招神於無、讀命繼生、土爲命先、所以爾者學士、穢氣未消、體未洞眞、以制十方、威未制天、政德可伏御地祇、束縛魔靈、但却死而已、不能更生、輕誦此章、身則被殃、供養尊禮、門戶興隆、世世昌熾、與善因緣、萬災不干、神明護門、斯經尊妙、獨步玉京、度

人無量、爲萬道之宗、巍巍大範、德難可勝、

(卷一三、線三・一三・四ウ—五ウ、洋一・一二六a—b)

第一太一元精太空之音

三界未造 天地無名 十方皆空 空亦寓稱
不識道祖 以空述形 空爲無有 徧處混成
一切衆生 但知土名 爲空所隔 不見道眞
不知空者 空非本稱 認空棄道 著空滯聲
不知其空 所空無形 無形者何 是眞土精
不知眞土 妄認爲空 空性頑慢 何緣物生
故知三界 萬天九清 玉京大山 鬱羅高臺
不能自有 因土乃生 土名眞空 出生萬化
離空求真 皆是幻假 勿取此空 自障其目
拂空翳除 眞土露形 蕩蕩道體 無所不成
兆之玄牝 日飲土精 故能長生 遨遊赤城
眞土之氣 立可仙身 (卷一三、線三・一三・

一五オ—一六オ、洋一・一三一b—一三二a)

第二監生定嬰之章

眞一玄一 合爲天精 飛露墮珠 受胎爲人